

2015年6月1日

次世代ネットワークサービス「Arcstar Universal One」の機能拡充について ～日本初、L3 サービスにおいて 10G の広帯域サービスを提供～

NTT コミュニケーションズ株式会社(略称：NTT Com) は、世界 196 カ国/地域で提供する高品質・高信頼な VPN サービス「Arcstar Universal One」において、超高速なイーサアクセスメニュー「L3(レイヤー3)^{*1} ギャランティアアクセスイーサタイプ 10 ギガビット品目」を、2015 年 6 月 1 日より提供開始します。L3 サービスでの、10Gbps という広帯域メニューの提供は日本初となります。

これまでは 1Gbps を上限とする帯域メニューでしたが、10Gbps のメニューを利用することにより、高精度の CAD^{*2} データ送受信や映像配信など、大容量データのやり取りをより安価・柔軟に対応できるセキュアなお客さまのネットワークを構築・運用することが可能になります。

1. 背景

近年、製造業による製品・部品の CAD データの複数拠点間での共有や送受の活発化、増大するストリーミング配信用映像データの編集や配信サーバーへのデータ送受、ERP など高頻度で多数の従業員が利用する基幹システムなどのクラウド化、社員向けの映像配信を行う企業の増大など、企業ネットワーク内においてお客さまの特定拠点又はクラウドと接続されるネットワークのトラフィック量が非常に大きくなる傾向にあります。そのため各拠点とセンター拠点又はクラウドの間を、高速に接続できる帯域が必要となっております。

このようなお客さまのご要望に応じていくために、NTT Com は「L2 (レイヤー2)^{*3} ギャランティアアクセスイーサタイプ 10 ギガビット品目」の提供に続き、日本国内での L3 サービスでは初めてとなる超高速なイーサアクセスメニュー「L3(レイヤー3) ギャランティアアクセスイーサタイプ 10 ギガビット品目」を提供します。

2. 特長

(1) 高度なネットワーク設定不要で高速かつ大容量通信が可能

本サービスでは、L3 サービスをご利用の場合でも高速かつ大容量の通信が可能です。この広帯域な特長を活かすことで、お客さまは L3 サービスでネットワークを構築したまま広帯域が必要なアプリケーションを利用できるようになるほか、企業合併や拠点統合の際に物理回線は 1 本のままで A 通信グループ、B 通信グループとして複数の論理回線(VLAN^{*4}) 利用することも可能です。

(2) お客さまのご希望に応じて帯域の変更が柔軟に可能

本サービスの帯域品目について、10Gbps のほかに、2Gbps を含む 4 品目を提供します。

これにより、お客さまはネットワークの通信量に応じた最適な速度を柔軟に選択して利用することが可能です。

(3) データセンターとお客さま拠点のセキュアで安定した接続が可能

本サービスのアクセス回線については、お客さま拠点間で接続が可能な「NTT Com 光アクセス」と「ハウジング接続」の2つのタイプを提供します。「ハウジング接続」については、この接続方式を利用することにより、お客さまの拠点と堅牢な NTT Com データセンターへのセキュアで安定した接続が可能となります。

3. 提供品目

2Gbps、3Gbps、5Gbps、7Gbps、10Gbps

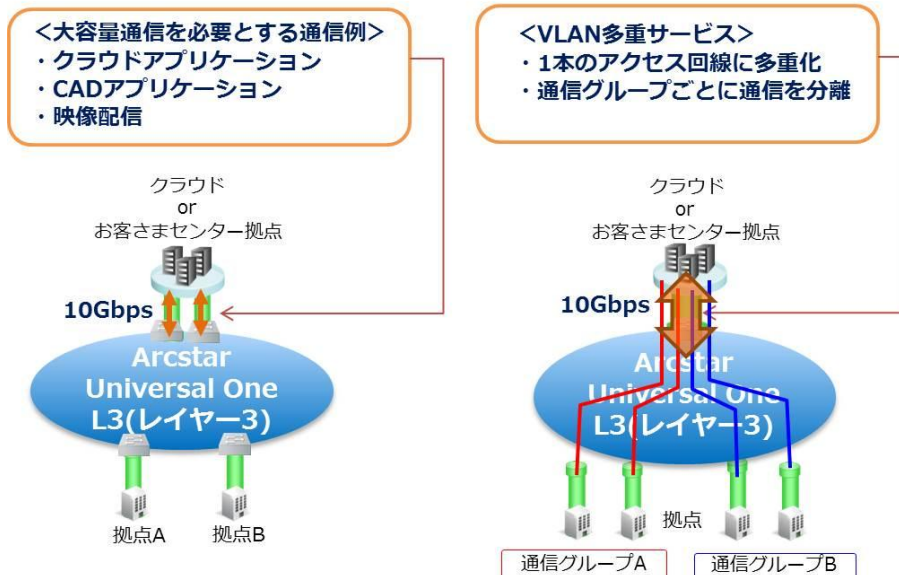
4. 提供形態

- ・「イーサタイプ(NTT Com 光アクセス利用)」
- ・「イーサタイプ(ハウジング接続)」

5. 利用イメージ

1. 大容量通信を必要とするアプリケーションを利用

2. VLAN多重サービスを利用



※VLAN 多重サービスについては 2015 年 7 月提供開始予定

6. 提供エリア

関東：茨城、栃木、群馬、東京、千葉、埼玉、神奈川

関西：滋賀、和歌山、奈良、大阪、京都、兵庫
(順次、全国へ拡大)

7. 受付開始日

2015年6月1日(月)

*1：IP-VPN。製造業、サービス業など、高度なネットワーク設定が不要なお客さま向け。詳細は http://www.ntt.com/vpn/data/basicknowledge_02.html を参照。

*2：製品の設計や製図にかかわるデータ。

*3：広域イーサネット。詳細は http://www.ntt.com/vpn/data/basicknowledge_02.html を参照。

*4：Virtual Local Area Network の略。物理的な接続形態とは別に仮想的なネットワークを構成すること